

より愛され親しまれる

瀬戸内海国立公園の

実現に向けて

提言

平成 18年 月

中国経済連合会

提 言

瀬戸内海地域は、古くは大陸と都をつなぐ人流・物流の動脈として栄え、沿岸部に歴史的・文化的な資産を有し、かつ自然的景観にも恵まれた地域であります。

ご高承のとおり、瀬戸内海は大小多数の島々からなる“多島美”により、古より瀬戸内を旅する多くの欧米人により世界無比の絶景と称えられるなど、世界に誇るべき資源を多く有し、我が国初の国立公園の指定を受けた地域であります。

中国経済連合会は、かねてより、この世界に誇るべき地域資源の一つである「瀬戸内海国立公園」を瀬戸内海のシンボルと位置づけ、地域内外の人びとに、より愛され親しまれる“憩いの場”の実現に向け、種種の取り組みを行ってまいりましたが、多くの人にとっては、瀬戸内海国立公園の範囲が広いため、景勝地の全体像をつかみにくい等の声もあり、検討の必要性を認識していました。

このような折、瀬戸内海国立公園が指定70周年を迎え、各地で再発見の動きもあり、当経連もこれらの動きを契機に、平成16、17年の2ヵ年を掛け瀬戸内海国立公園を再点検することとし、瀬戸内海沿岸自治体へのアンケート、ボランティア・NPO等へのヒヤリング、現地調査などを行い、これらの調査に基づき提言を取り纏めました。

国におかれましては「瀬戸内海自然資源保全管理戦略調査」などの推進により、瀬戸内海国立公園の取り組みを展開されておられますが、関係各位におかれましては、本提言の趣旨をご理解いただき、実現に向け格段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

記

～より愛され・親しまれる“瀬戸内海国立公園”の実現に向けて～

瀬戸内海国立公園の景勝地利・活用のための調査について

瀬戸内海国立公園区域内には多くの景勝地が存在するが、多くの人には鷺羽山，鞆の浦，宮島など第一級の景勝地以外余り知られておらず，貴重な資源が活かされていない。

現在，環境省の中国四国地方環境事務所で，瀬戸内海国立公園内展望地の整備・格付けが行われておられるが，早急に調査の取り纏めを行い，瀬戸内海の眺望の魅力を地域内外に広く知らしめること。

瀬戸内海国立公園の自然環境と景観の保全について

瀬戸内海国立公園内のすぐれた自然環境とすばらしい景観については，特別地域として環境省により種類別に区分けし，管理されている。

環境省では，平成16年度に「瀬戸内海自然資源保全管理戦略調査」により，瀬戸内海国立公園の全サイトの自然環境の状態把握等の実態調査が実施されており，この調査結果を活かすためにも可及的速やかに，自然環境のカルテ作りの本格的調査を行い，貴重な資源の保全に役立つものとしていただきたい。

瀬戸内海国立公園に誇りと愛着を育てる取り組みについて

瀬戸内海国立公園の素晴らしさを後世に継承していくためには，小・中学生など次世代層を中心に，早い時期から瀬戸内海国立公園に誇りと愛着を涵養させる取り組みが必要である。

そのためには，地元の小・中学校の教育の場に瀬戸内海国立公園を体験できる時間を設け，ビジターセンター等の活用を図っていくことが肝要である。また子供たちが，誇りと愛情を持って景勝地を守っておられる地元の方の活動に接することは，心に感動が育まれることとなるので，このような地元の方の活動が継続・発展できるよう支援活動をお願いしたい。

平成18年 月

中国経済連合会

会 長 高 須 司 登

瀬戸内海委員会

委員長 宇 田 誠

副委員長 安 原 健 男

副委員長 今 中 亘

副委員長 安 部 研 一